



成人向
R-18
For Adult only

母

20







一瞬言葉に
詰まるのは…



大丈夫…
謝らないで
いいのよ…

これは
智樹の体の
ためなんだから…

胸の奥底に
沈めた感情に
気付かされるから

自分に
言い聞かせるように
笑顔で取り繕う

これは
私にしかできない
「治療」だと…



そう…

智樹は…
射精することに
集中して
いいからね…

全部
この子の
ため—



わたし
母親だから
できる

うん...

ほら
お返事は...?

わたし
母親にしか
できない...



痛い時は
教えてね...

この子を...
救うための...

大事な
治療...

母さんこれ...
きつと
上手な方じ
ゃないから...



口中に
拡がっていく

息子の
生殖器の味...

この行為を
はじめて...
もう一ヶ月
になる

内科・泌尿器

造精…過剰
ですか？

ええ

簡単に言うと
人よりも精子が
造られやすい体質
ということです

体が吸収
しきれなかった
古い精液が
痛みなどの
原因だと考えられます

智樹くんの場合
精子の
運動率などに
異常も
見られませんし

夢精するまで
溜めないように
定期的に排出すれば
問題はないと思います

排出…？

ええ
自慰などで
人為的に射精する
ということですね

まあお子様の場合
年齢的な問題も
ありますし
お母様が介助
という形で

そう…大丈夫
お母さんが
ついてるから…

ああ
自慰の
説明ですか

あ…
いえそれは…

大丈夫です…

…？

頻度と
しては—



しかし
定期的に
処理させると
言っても

まさか母親が
ポルノ雑誌を
買い与える
わけにもいかない

必死に
「排出」方法を
探した私が
目にしたのは

普段だったら
目にしただけで
嫌悪感を抱いて
いたような情報…

今は—



でも…



カッ



痛い…
痛っ…

付け焼刃の
知識…

手袋
ハンカチ

そして
柔らかい
タオル…

痛みを
与えない
ように
何でも
試してみた



でも
腫れたように
熱をもった
性器は—

お母さん
こういうの
詳しくなくて…

ごめんね
痛かった
よね…

その刺激ですら
耐え難い苦痛に
変えてしまう



僕こそ
ごめんね
お母さん…

こんな汚い所…
何回も
触らせることになっ…



ましてや
手で扱くなど…

ううん…
だ…大丈夫
だよ

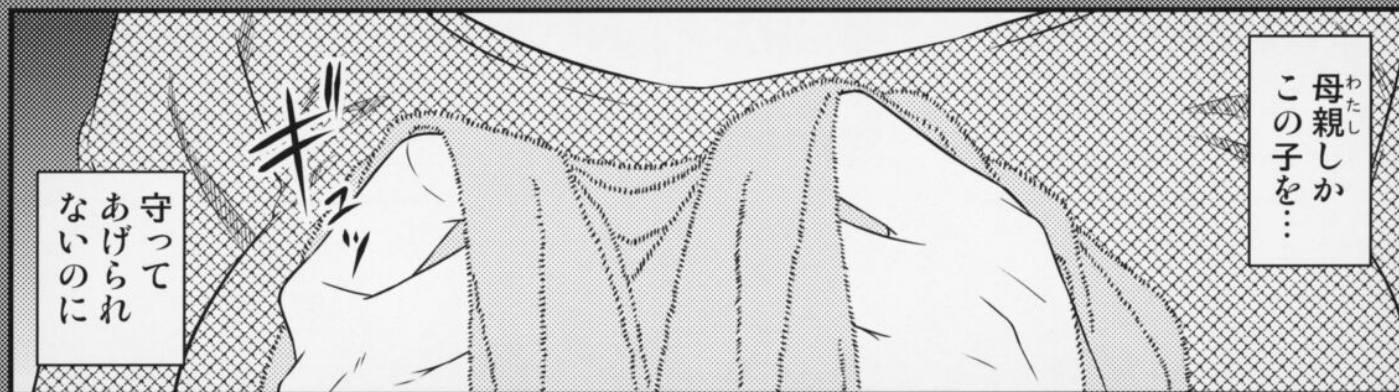


辛いのは
この子の
方なのに…

そ…
そんな…っ

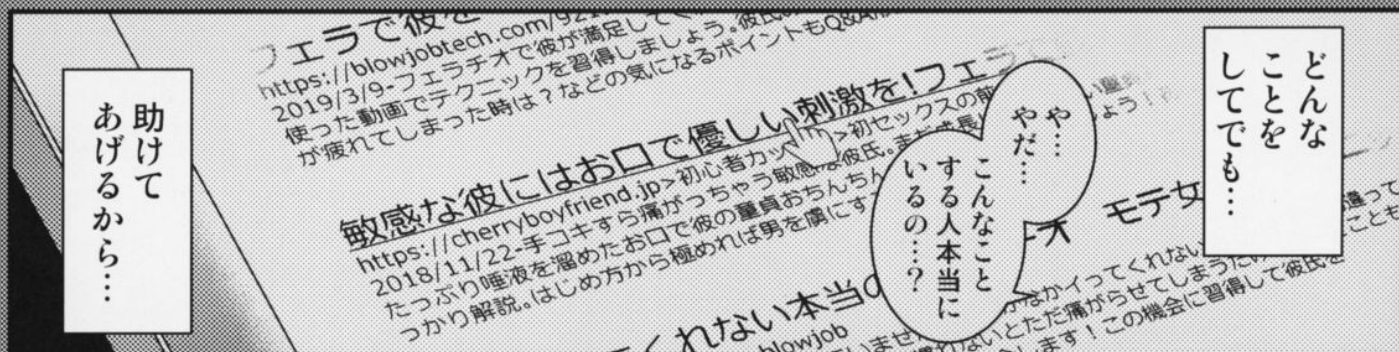
智樹が
謝ること
なんて…

私は
苦しみ一つ
取り除いて
あげられない…



わたし
母親しか
この子を…

守って
あげられ
ないのに



どんな
ことを
してでも…

やだ…
やだ…
やだ…

こんなこと
する人本当に
いるの…??

助けて
あげるから…



これから
お母さんが
すること…

内緒に
できる…?

大丈夫…
きつと
できる

え…?



え…
お母さ…!?

この子の
ために…っ

いいから…
じっと
してなさい…

あの日から—

毎晩お口で
精液を
排出させる日が
続いている



痛みを与えない
ように
口腔と生殖器の
間を唾液で満たし

ちゅぽ

舌と頬肉で
優しく
包むように
迎え入れていく

ゆったりとした
ストローク

小さな
お辞儀を
繰り返すように

性器に
刺激を
与えていく

決して
急かさない
ように…

生殖器の匂いや
味が唾液に
溶け出すまで
じつくりと

射精させる
ためじゃない…

おちんちんに
受け入れて
もらうための
口淫…

すごい…
また一回り
大きく…

ペニス全体が
刺激に慣れた頃

今度は
舌と唇で

性器の汚れを
こそげ落とす
ように

時間をかけて
一つ一つの
性感帯に
刺激を与えていく

声の震え
性器の怒張…

母さん
僕もう…っ

限界が近い…

うん…

我慢しないで
いいからね…

一番気持ちいい
射精が
できるように

あ…ああつ

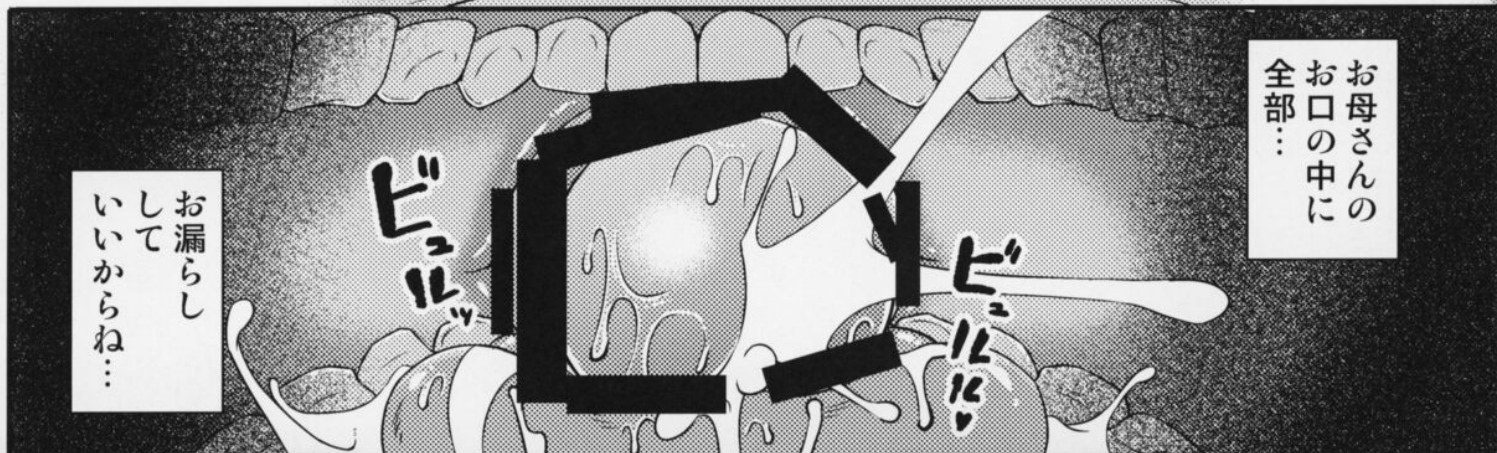
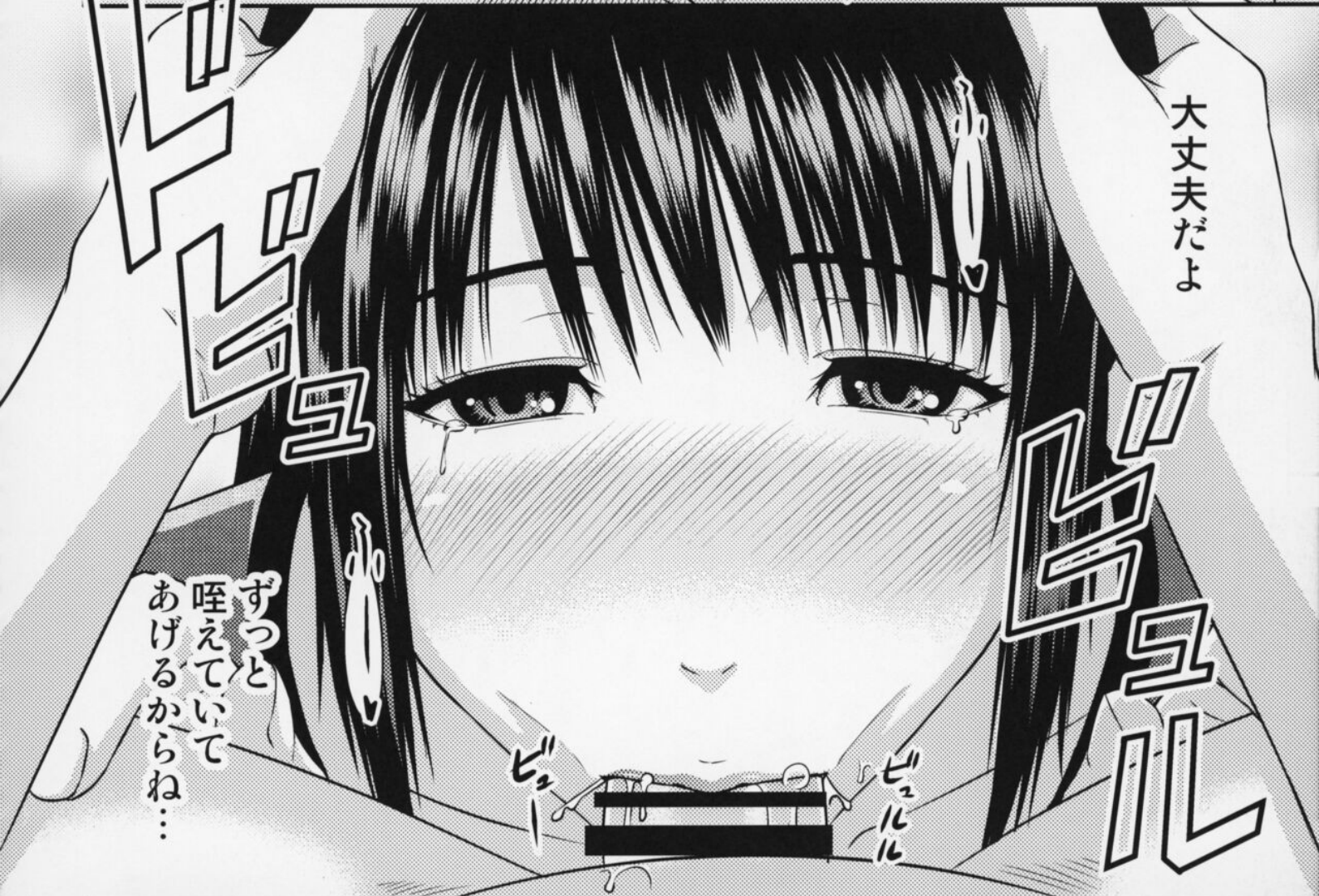
再び口腔に
迎え入れる

口をすぼめて
唾液にまみれた
唇と頬肉で
扱き上げる

口を
女性器の様に
扱って…

まるで
お口でする
セックス…

母さん
…っ







はあ

全部
射精させたね
えらい♡
えらい♡

はあ

はあ

ごめん母さん
また僕の
汚いの…
お口の中に…

どこまでも
甘美な
禁忌の味…

ふふ…
そんなこと
気にしないで
いいのよ



それに
これは
汚くなんか
ないわ

…?

智樹の体が
作った
大事なもの
なんだから…

この子に
教えて
もらった…

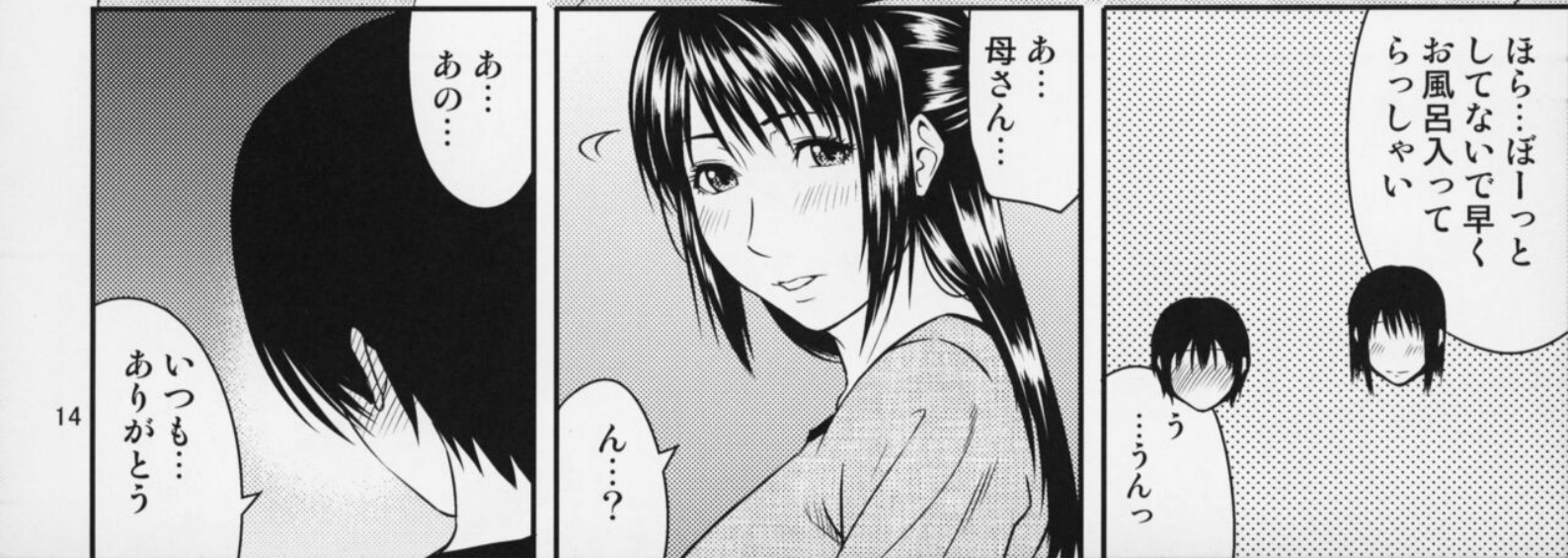
…っ

お母さん
いくらだって
飲んであげられ
るのよ♡

ほら…
ね♡

精液の
味…

チュプ♡



あ…
あの…

あ…
母さん…

ほら…ぼーっと
しないで早く
お風呂入って
らっしゃい

うんっ
…うんっ

ん…?

いつも…
ありがとう



……っ

ありがとう
……か

引っ込み思案で
謝りがちな
息子の口から出た
感謝の言葉……



「治療」の最中
いつも
伏せている……



もう
増えることのない
親子三人での
写真



それが逆に
静かな
罪悪感を
呼び起こす

夫が死んで
五年になる

精一杯
駆け足のように
歩んできた日々



キラッ

私が夫の分まで
息子を
守っていく――

そう
心に決めて
きた……

この「治療」だって
あの子のため――

それは
偽りのない
動機だった

でも
今は――

あの子の
「男性」を……

強く意識
してしまう

口の中に

まだあの子の
感触が
残っている……

「ごめん
なさい…」

息子から
向けられる言葉に
胸が痛むのは

「ありがとう…」

目を背けてきた
自分の中の
薄暗い変化に
気付かされるから

母親の
顔をして

息子のためと
言いながら

夜ごと…

息子の性器に
むしゃぶり
ついている

体の奥から
熱が溢れ
だしている

こんな感情に
流されちゃ
だめ…

この「治療」も
いつか
終わりを迎える

その日までどうか
この母親の
仮面を
守れるように――

本当に
今日はしないで
大丈夫なの？

その日は――

うん…
明日の
小テストの
勉強しなきゃ
だから…

そ…
そうね

ここのところ
毎日だった
ものね

じゃあ食器
お母さん
洗っておこうか？

大丈夫だよ
先に
片付けちゃうね

ごめんね
智樹の予定も
考えずに…

ううん
全然…

その翌日
唐突に訪れた

勉強中でも
したくなったら
遠慮しないで
言っていいのよ

あ…でも
それじゃ集中
できないか

母さんの
おかげでだいぶ
楽になったから…

心配しないで
大丈夫だよ

確かに「排出」は
夢精するほど
溜めなければ
いいというだけで
毎日しなさい
とは言われて
いない

え…
ええ…
そう？

だから
今日は
たまたま
お休みの日―

この時は
そんな風に
軽く考えていた

でも
この日を
境に――

智樹
今日は――

ご……ごめん
今日も
宿題多いから

も……もう三日も
してないけど
大丈夫なの？

え……
あ……

自分で
少しずつ
やってるから
大丈夫だよ

息子は
私に「治療」を
頼まなくなった

バツ……

……

お医者さんは
時が経てば
親の介助なしで
できるようにな
ると言っていた

きっと
息子なりに
一人で
できるようにな
ったのだろう

私自身もあの
歪な感情から
離れる
いい機会だと

一抹の
寂しさを
感じながら

あら？

この下着
下洗いして
ないわね

そう納得
しようと
していた

その矢先――

やだ……
これって……

ドロォ……

夢精……
よね？

そんな……
どうして……

あの子……

私に
嘘を――？

お母さんに
問題があつたなら
教えてちょうだい…

お母さん
信じてたのよ…?

智樹は
自分でできて
るって言うた
じゃない

それなのに
こんな…下着に
お漏らしする
くらい溜めてた
なんて…

お母さんみたい
なオバサンに
おちんちん
啜えられるの…

気持ち
悪かったかも
しれないけれど…

でも
それなら
そう言う
てくれば…

ち…
違うよ

逆なんだ!!







何日ぶり
だろう...

う...
うん...

母さんの
匂い...
久々に
嗅いだから...



ずっと...
射精して
なかったの?

うん...
同級生の子想像したり
Hな写真見ても
全然射精できなくて...

でもお母さんの
顔見るだけで
痛いくらいに
勃っちゃうんだ...
だから...
ずっと顔見るのも
避けてて...



え...
あ...
あの... 僕...

お願い...
したいことが
あるんだけど...

本当は...
聞く前から
分かっていた

うん...
何でも
言っただけ...

じゃあ...
今日の分...
今からしようか?

今日だけでいいから…

それは…

互いの心の奥の渴望を潤す禁忌の言葉

お母さんと…セックスしたい—

もう何年もそういう目的で使われていない夫婦の寝室

今…服脱ぐからちよつと待っててね…

う…うん

そこに息子を迎え入れる意味…

こういうとき…どうするのが正解だったのか…

あ…

ゴムないんだ…

叱りつけたら良かったのだろうか

優しく諭して諦めさせるのが良かったのだろうか

避妊のことも教えてあげないと…

でもきっと私は

……っ

ひどい濡れ方…

おちんちん触っただけなのに…

他のどの方法を選んでも後悔したと思う

待たせて
ごめんね…

はじめて
おちんちんを
啜えた
あの日から

やだ…
そんなに
見ないでよ…

もう
お婆さんの
体なんだから…

私は—

か…
母さん…っ

いや
私たちは—

セックスのこと…
学校で
習ったの？

保健の授業で…
少しだけ…

愛し合ってる
二人がする
大事な行為だって

うん…
そうだね…
本当に大事な人と
だけする行為…

で…
でも僕…

はあ

はあ

大丈夫…
お母さんに
任せて…

私だって
緊張してない
わけじゃない…

でも—

舌…
出して
ごらん

はあ
きつと
こうなる
運命だった…

はあ
具体的に
どうするかは
わからなくて…

差し出された
舌を

あやすように
舐めあげ
迎え入れていく

肌と肌
粘膜と粘膜

お互いの
気持ちをも
伝えあうように

この子の
ためなら

なんだって
してあげられる

二人の体が
生み出す
淫らな水音が

ゆつくりと
部屋を
満たしていく









智樹のものに
なった証に

脳が麻痺する
ような多幸感

お母さんの
子宮に
注ぎこんで…っ

おんな
母親の一番深い
場所に想いを
届けるために

愛する息子が
必死に腰を
振っている

互いの想いを

僕もう…
本当に…っ

いいよ
射精して!!

智樹の
初めての
膣内射精…

溶け合わせる
ように

お母さんに
見せて!!





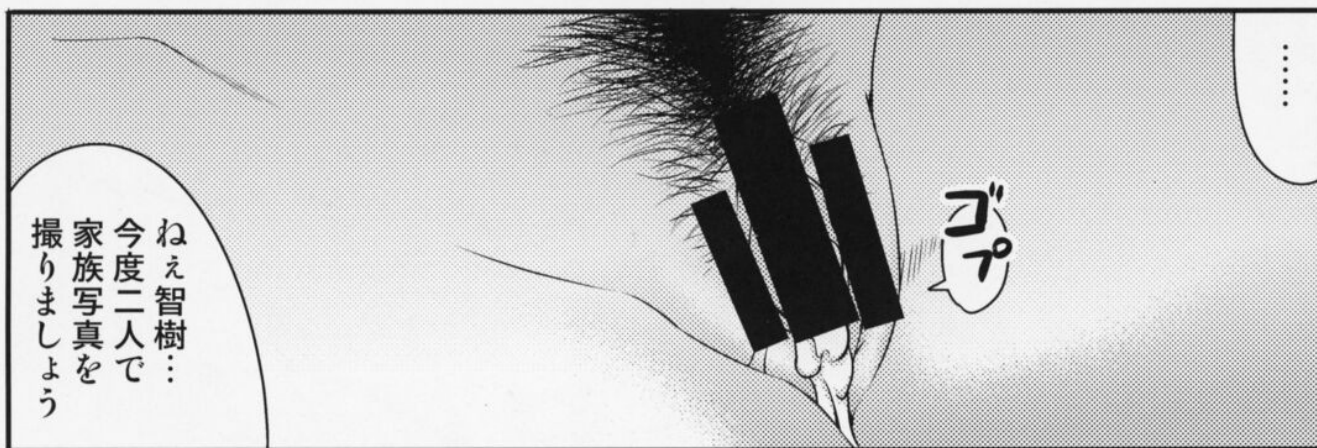
でも
中にいっぱい
出しちゃった…

いいのよ
お母さんがお願い
しちやっただから



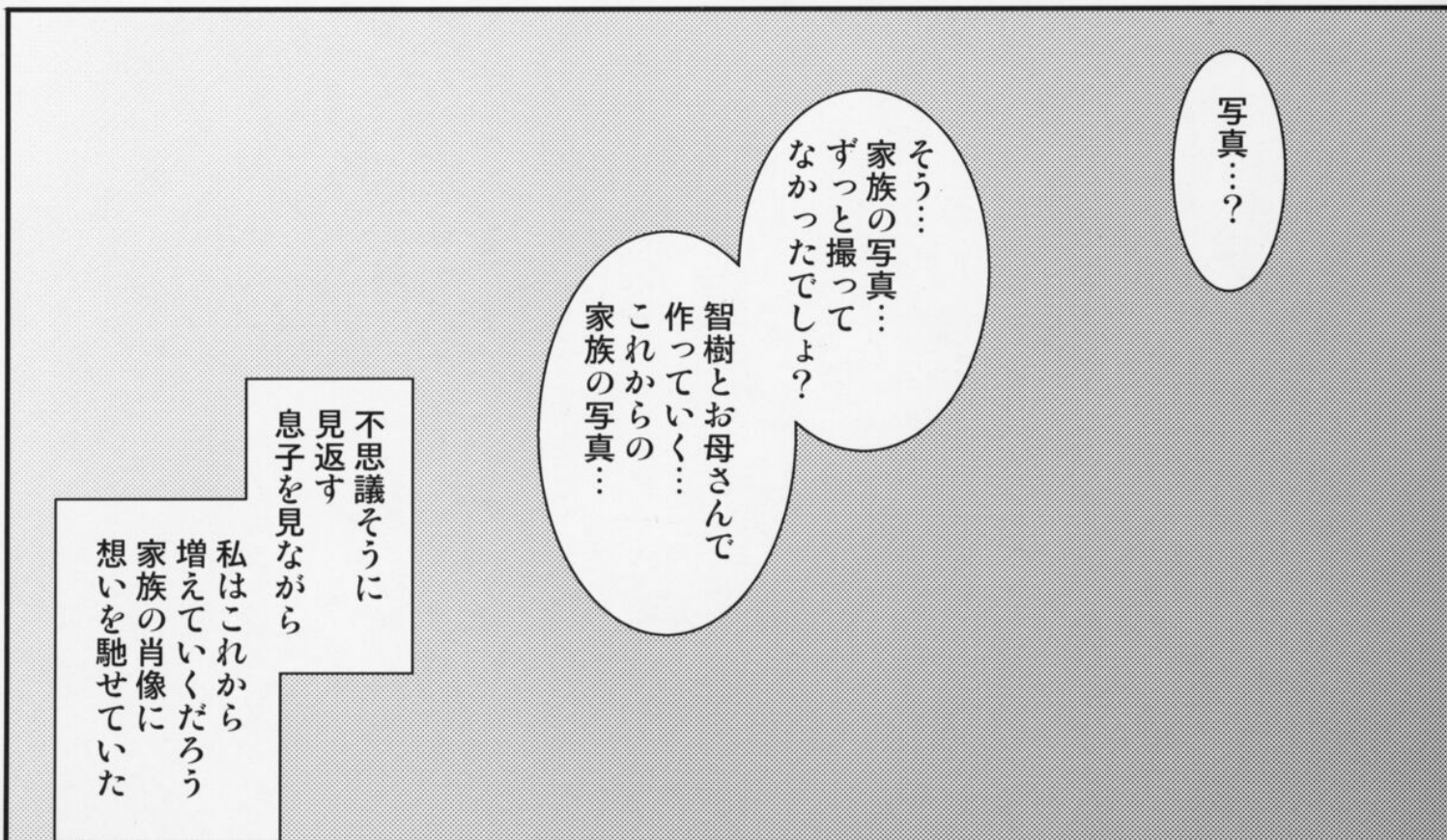
どう？
気持ちよかった？

うん…
ありがとう…



ゴッ

ねえ智樹…
今度二人で
家族写真を
撮りましょう



写真…？

そう…
家族の写真…
ずっと撮って
なかったでしょ？

智樹とお母さんで
作っていく…
これからの
家族の写真…

不思議そうに
見返す
息子を見ながら

私はこれから
増えていくだろう
家族の肖像に
想いを馳せていた

あとかき

お久しぶりです
ナリヲです

準備号からそのまま足して描く予定だったのですが
色々考えた結果途中でほぼ全部描き直すことにしました
話の大筋はそのままなのですがテンポを考えた結果
手コキは全カットしていきなり口淫からスタートとなりました

ただ今回もバランスが難しくフェラと本番の間が少し間延びしてしまったので
この辺りももっと勉強したいと思います

病気というのを行為の理由として扱うのには個人的にやや抵抗がありましたが
架空の病ということで準備号から丸々流用いたしました
しかし今回描いている最中に私自身、下腹部に激痛がたびたび走る症状が出てしまい
怖くなって泌尿器科に駆け込むこととなりました
おそらく前立腺炎ではないかということで薬を処方していただきましたが
本当に病気は嫌なものです
人生健康が一番です

今回は「口」をテーマに色々挑戦してみたのですがまだ勉強が必要だと痛感しています
昔男性器に内視鏡カメラをつけて口淫するというビデオがあったのですが
「口の中から射精を見る」というそのイメージを描写することを目指して
フェラシーンは描いていました
もっと精進して良いフェラシーンを描けるようにがんばりたいです
(本番ないフェラのための本とか挑戦してみたいと思っています)

それではまたどこかでお会いしましょう
ナリヲでした

奥付

誌名：母穴を掘る20

発行元：天愚連

発行人：ナリヲ

初版　：2019年8月11日

第二版：2019年11月30日

印刷：ねこのしっぽ様

連絡先：<http://curtana.blog75.fc2.com/>





天鬼連
